

2016年3月3日

みずほ証券株式会社

組織改編のお知らせ

みずほ証券株式会社（取締役社長：本山博史、以下「当社」）は、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下「くみずほ」）における組織各層の名称統一、お客さまへのサービス提供力強化および営業推進体制強化等の観点から、2016年4月1日付（一部は2016年4月4日付）で下記の組織改編を実施することとなりましたので、お知らせいたします。

なお、改編後の組織体制の詳細につきましては、別添の組織図をご参照下さい。

記

組織改編における主な変更点は、以下のとおりです。

1. くみずほにおける組織各層の名称統一の方針を踏まえた当社組織の改称

- 投資銀行部門、市場・商品部門、国内営業部門を、それぞれグローバル投資銀行部門、グローバルマーケット部門、リテール・事業法人部門に改称。
- リサーチグループをリサーチ&コンサルティングユニットに改称。
- 内部監査部門を内部監査グループに改称。
- フロント部門傘下のグループおよびシンジケーショングループの「グループ」の組織名称を「本部」に改称。

2. お客さまへのサービス提供力強化および営業推進体制強化に向けた組織体制の見直し〈グローバル投資銀行部門〉

- グローバル投資銀行部門におけるカバレッジ運営体制を強化するため、セクターカバレッジ第一部～第五部、金融法人部および公共法人部を担当業種別に9つのセクターに再編。更に、部門内カバレッジ組織を投資銀行本部および金融公共本部に集約。併せて、投資銀行部については、お客さまへのよりきめ細やかな営業展開を目指し、投資銀行部門の各セクターおよびリテール・事業法人部門の企業金融各部に移管した上で、同部は廃止。
- 不動産関連ビジネスにおけるカバレッジ機能強化のため、投資銀行本部に不動産セクターを新設の上、セクターカバレッジ第三部の不動産カバレッジ機能、

不動産私募ファンドカバレッジ機能および不動産金融開発第一部の REIT カバレッジ機能を同セクターに集約。これに伴い、不動産金融開発第一部を廃止し、不動産金融開発第二部を不動産金融開発部に改称。

- ファンド関連ビジネスにおけるカバレッジ機能強化のため、投資銀行本部にフィナンシャルスポンサーセクターを新設し、セクターカバレッジ第四部の PE(プライベートエクイティ) ファンドカバレッジ機能および商社カバレッジ機能を同セクターに集約。
- グローバル投資銀行部門における企画管理機能および営業推進機能の一体化による部門運営の強化等を行うため、カバレッジ業務推進部を廃止し、同部の機能を投資銀行業務管理部に集約。
- グローバル投資銀行部門における部門横断的なオリジネーション機能やエグゼキューション機能の強化に加え、お客さまへの商品提案力およびサービス提供力を強化する観点から、アドバイザーグループ、IB プロダクツグループおよび資本市場グループをプロダクツ本部に統合。

〈グローバルマーケット部門〉

- お客さまへのサービス提供力強化および業務効率化の観点から、クレジット関連業務を外債トレーディング部に集約した上で、同部をクレジットトレーディング部に改称。
- 株式のレンディング機能およびファシリティトレーディング機能をお客さまへ一体的に提供すべく、エクイティファイナンス部の機能をエクイティ部に集約。

〈リテール・事業法人部門〉

- 個人営業推進部およびプライベートバンキング支援部が担ってきた富裕層のお客さま向けの営業企画・推進機能を法人営業推進部に移管するとともに、同部を法人総合営業推進部に改称。
- 関西圏の営業店におけるコンサルティング営業等のサポートを行う部署として、関西コンサルティング支援部を新設。
- 対面・非対面チャネルを連動させた施策の企画・立案を行う観点から、国内営業統括部の部内室としてチャネル戦略室を新設。同室に個人マーケティング部が担ってきたマーケティング機能を移管の上、同部は廃止。
- 非対面チャネルを担うネット・コンタクト本部の企画・立案機能を強化するため、ネットサービス部をネット営業推進部に改称の上、コンタクトサービス部が有していたコンタクトセンターに関する企画・立案機能を同部に集約。
- 職域営業と持株会(ストックオプションを含む)関連業務の一体的な運営・推進等を行うべく、各業務を所管する職域営業部とファイナンスコンサルティング

グ部を統合の上、ライフプラン営業部を新設。

- 国内営業統括部の店舗戦略機能および連携統括部のプラネットブース戦略機能を統合・強化するとともに、統一的なチャンネル戦略の下、〈みずほ〉における「エリア One MIZUHO 戦略」を推進すべく、部門直轄組織として店舗部を新設。
- IPO（新規公開）ビジネスの拡大に向けた企業調査機能を強化するため、法人営業推進部の部内室であった戦略調査室を戦略調査部に改組。
- 企業推進第一部～第四部を企業金融第一部～第四部に改称。また、投資銀行部門傘下における投資銀行部からの法人のお客さまの移管に伴い、企業金融第五部を新設し、5部体制に変更。
- 公益法人のお客さま向けの営業機能を強化すべく、東京法人部を東京法人第一部および東京法人第二部に分割。（実施日は2016年4月4日）
- 業務効率化等の観点から、プロダクトプロモーション部が担ってきた個人向け商品プロモーション機能を含む、部門内の複数部署に跨っていた営業支援業務を商品企画部に集約するとともに、プロダクトプロモーション部を廃止。併せて、アセットマネジメント業務部をファンドプロダクト開発部に改称。
- 営業店における自律的な運営の強化およびマネジメントの高度化に向けた体制整備を目的として、リテール・事業法人部門内に営業店改革推進PTを新設。

〈シンジケーション本部〉

- マーケッツソリューション部については、一層の新機軸ビジネスへの対応力強化に向けて、より柔軟かつ幅広い案件対応力を実現すべく、同部の機能をデットシンジケーション部およびエクイティシンジケーション部に集約の上、廃止。

3. その他コーポレート機能における組織改編

- 当社グループにおけるグローバル戦略の企画・推進機能を強化する観点から、グローバルコーディネーション部をグローバル戦略部に改称。
- 経営調査部が有していた、資本市場に係る調査機能をベースとし、資本市場ビジネスをはじめとした当社フロントビジネスへの営業支援を行うべく、同部を市場情報戦略部に改称の上、経営直轄組織に変更。
- コンプライアンス企画部が担ってきたコンプライアンス統括グループ内でのモニタリング統括機能を強化するとともに、同部をコンプライアンス統括部に改称。

以上

みずほ証券 組織図

